



# 15<sup>th</sup>

## 川棚の杜・コルトーホール開館15周年

記念式典・演奏会

京都フランス音楽アカデミー特別演奏会  
第15回川棚・コルトー音楽祭

2026

# 3.22 SUN

下関市川棚温泉交流センター

## 川棚の杜・コルトーホール

山口県下関市豊浦町川棚5180 tel. 083-774-3855

15:00開会 (14:30開場/17:00終了予定)

### 第Ⅰ部：式典

- ジャン・コルトー氏寄贈絵画  
「L'homme se pare de ses chances」初披露  
(人は幸運を身にまとう)
- ピアニスト 遠山慶子氏寄贈 アルフレッド・コルトー ポートレート初披露
- 「川棚とコルトーの物語」動画紹介

### 第Ⅱ部：記念演奏

オーボエ：**マチュー・プティジャン**

パリ・エコール・ノルマル音楽院教授 モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団首席オーボエ奏者

ピアノ：**西岡仁美**

予定曲目

プーランク「オーボエ・ソナタ」、ラヴェル「ソナチネ 第1楽章」「クーブランの墓 5.メヌエット」  
シューマン「夕べの歌」「月の夜」「静かな涙」

入場無料/事前申込制(先着150名)

2月2日(月) 10:00より

わたしの思いはひとりあの島へ残るだろう。

アルフレッド・コルトー

# コルトーの想いととともに...

フランスの巨匠ピアニスト、アルフレッド・コルトー(1877-1962)は、1952年、生涯一度きりとなった日本ツアーの際に川棚観光ホテルに3泊滞在。響灘に浮かぶ厚島の景観に感激し、島の購入を川棚村長に申し出るほど魅了され、島は「孤留島(こるとう)」とも名づけられました。この縁から2010年、世界的建築家・隈研吾氏の設計によって「川棚の杜・コルトーホール」が誕生し、以来「川棚・コルトー音楽祭」「コルトーを偲ぶ会」などの顕彰活動が行われています。

1952年当時、既に新進気鋭の若手画家として注目されていた子息ジャン・コルトー(1928-2018)も共に来日していました。ジャン氏は長年にわたって文学と絵画の関係性を探求し「言葉の画家」「テキストの捕食者」と称され、2001年には美術アカデミー(アカデミー・デ・ボザール)会員に選出、ジョルジュ・ポンピドゥー国立芸術文化センターにも多数の作品が収蔵されるなど、戦後のフランス美術界にとって重要な人物でありました。ジャン氏は生前、川棚との友情の証として自身の絵画を贈り、この度、川棚の杜の収蔵品として一般公開されます。

## アルフレッド・コルトー ポートレート初披露

ピアニスト遠山慶子氏(2021.3.29逝去)よりご寄贈(1952年撮影)

遠山慶子氏はアルフレッド・コルトーの愛弟子で、2012年当地コルトーホールにおける「コルトー像除幕式および追悼シンポジウム」にご出席され、パネリストとしてコルトーへの想いと所感を賜りました。

遠山慶子氏とコルトーが初めて出会った、帝国ホテルにて▶



dont l'esprit ue carrera de l'habiter  
en zere...  
Alfred Cortot  
Octobre 1952

▲1952年、川棚観光ホテルにて撮影。  
右がアルフレッド氏、中央がジャン氏。



## マチュー・プティジャン (オーボエ) *Matthieu Petitjean (Oboe)*

パリ国立高等音楽院でジャック・ティスに師事した後、ドイツでオーケストラでのキャリアを開始。ニーダーザクセン州立歌劇場、バイエルン国立歌劇場で首席オーボエ奏者を7年間務める。イギリスのバルピローリ国際コンクールでフランス人初の優勝を果たして以来ソリストとしても活躍。小澤征爾が創設・指揮したサイトウ・キネン・オーケストラにも10年近く参加した。現在は山田和樹が音楽監督兼芸術監督を務めるモンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団で首席オーボエ奏者を務める。ザールブリュッケン音楽大学で5年間教鞭をとった後、パリエコール・ノルマル音楽院教授に就任。日本、韓国ほか各地でマスタークラスも行う。フランスで200年の歴史を誇る楽器ブランド「ビュッフェ・クランポン」のオーボエ研究開発にも携わっている。



## 西岡 仁美 (ピアノ) *Nishioka Hitomi (Piano)*

兵庫県西宮市出身。京都市立芸術大学卒業後、渡仏。リヨン国立高等音楽院修士課程ピアノ専攻、国立パリ地方音楽院室内楽専攻、伴奏専攻を審査員満場一致の一等賞で修了。その後、同音楽院にてフォルテピアノの研鑽を積むかたわら、パリ20区立音楽院に所属のもと子どもの音楽教育にも携わる。2010年サント＝フォワ＝レ＝リヨンにて、こけら落とし公演としてソロリサイタルを開催。2010、2012年ポーランドのグダニスクにて、Euro Chamber Music Festivalに招聘される。また、ロンティポー国際コンクール入賞者ヴァイオリニストCh. ブリエ氏とCDリリースするなど、7年半に渡りヨーロッパ各地で活躍後帰国。国内外の様々な音楽家と共演するほか、コンクール、合唱やオペラ伴奏、後進の指導にも当たる。

## ジャン・コルトー 絵画 「L'homme se pare de ses chances」初披露

(人は幸運を身にまとう)

画家ジャン・コルトー氏(2018.12.28逝去)より、生前に川棚との友情の証としてご寄贈いただきました。幼少期から親交のあった詩人ポール・ヴァレリーによる格言を、鮮やかな色彩と自由な筆致によって絵画的エネルギーへと昇華した、ジャン・コルトー氏の芸術性の真髄ともいうべき作品です。訪れる人々の幸せを願い、末永く展示することを約束しました。



▲1952年、川棚観光ホテルにて撮影

## ご予約方法 2月2日(月) 10:00より

右の2次元コードより申込フォームへ



川棚の杜 お電話またはご来館  
(083-774-3855, 9:00~19:00)

●定員管理の都合上、申込フォームからのお申込みは1件あたり最大5名様までに制限しております。一度に6名様以上お申込みされる場合は、お電話にてお問合せください。●メールでのお申込みはお受けできませんのでご了承ください。

## アクセス P 無料駐車場(約100台)あり

Google Map

- 中国自動車道下関I.C.または小月I.C.より車で約30分
- JR新下関駅より車で約30分
- JR川棚温泉駅より2.5km/川棚温泉バス停より0.5km



主催:下関市 | 企画制作:川棚温泉まちづくり(株)

企画制作協力:京都フランス音楽アカデミー実行委員会、関西日仏学館 | 協賛:(株)ビュッフェ・クランポン・ジャパン | 後援:下関市教育委員会、豊浦町観光協会、川棚温泉観光協会

